

[ 小面積向き ]

ジェムドット仕上げ  
施工の手引き

適用品番

ジョリパットインフィニティー      JQ-500シリーズ

【初版】平成24年 4月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-410	1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー	15kg/缶	約 75 ~ 100 m <sup>2</sup>
	セーフシーラー JS-800	1液水系珪酸シーラー	16kg/缶	約 80 ~ 106 m <sup>2</sup>
主材	ジョリパットインフィニティ シリーズ 標準色 JQ-500T ( ...数字 ) 特注色 JQ-500 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約 15 m <sup>2</sup>
骨材	JF-1 JF-25	寒水石(白竜) 1 厘 カーキ砂 S フラック	20kg/袋入り 20kg/袋入り	約 44 m <sup>2</sup> 約 224 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は 2kg × 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ(ステンレス製)
- ・スチロールゴテ (スチロールフォームのような発泡スチロールでも可)
- ・仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<ジェムドット仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

・JS-410の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

・JS-800の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JQ-500シリーズを無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう  
金ゴテ(ステンレス製)にて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	J Q - 5 0 0 シリーズ	2 0 k g
	J F - 2 5 (カー-珪砂Sブラック)	5 k g
	寒水石 1厘	2 0 k g
	清 水	2.5 ㍓
塗 布 量	約 1 . 0 k g / m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ(ステンレス製) 金ゴテにて薄く配り塗り。(図-1)	

追いかけて(5分以内)

4. パターン付け

・スチロールゴテを円状に動かし、骨材が転がった模様  
を付けてください。(図-2)

追いかけて(5分以内)

5. 押さえ(仕上げ)

・仕上げゴテを円状に動かし、表面が平滑になるよう押さ  
えてください。(図-3)

<施工のポイント>

- ・材料を配り塗りする際、左官のコテ配りでは、黒い硅砂が偏る為、一定方向にコテを動かして配るのではなく、ランダムな扇模様を描くように配り塗りしてください。(図-1)

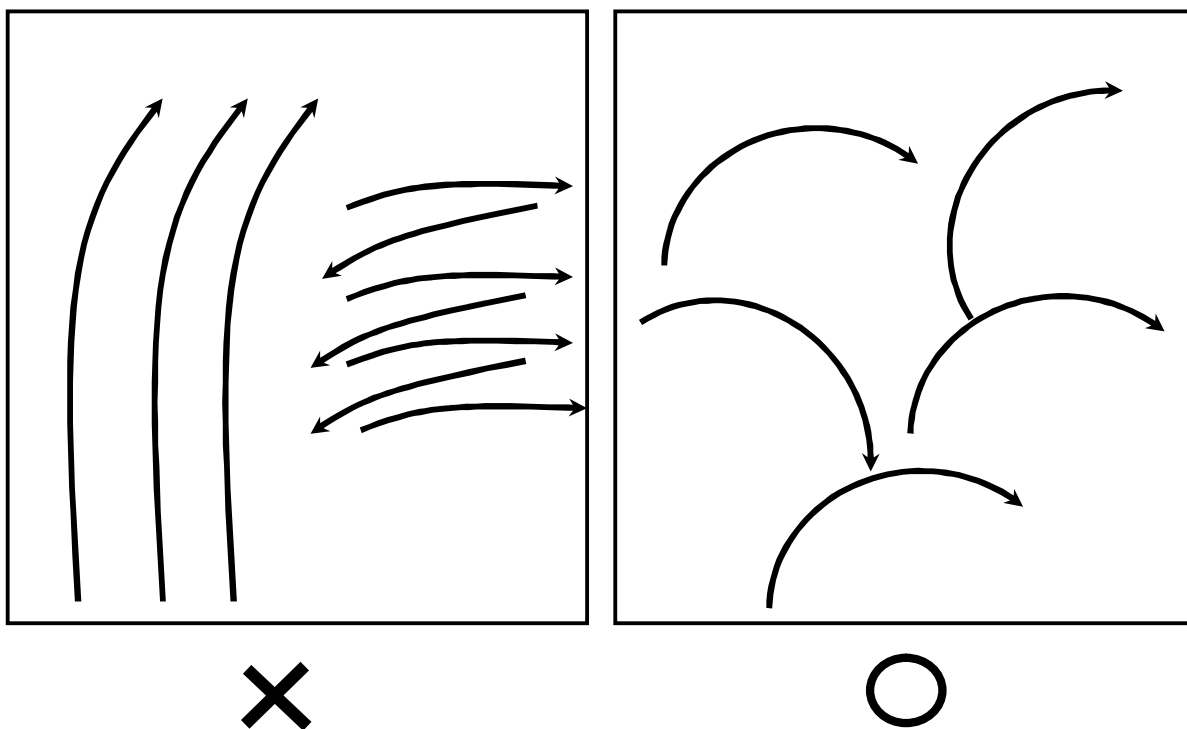


図 - 1

- ・スチロールゴテを円状にランダムに動かし、黒い硅砂 (JF-25) が偏らないよう分散させてください。

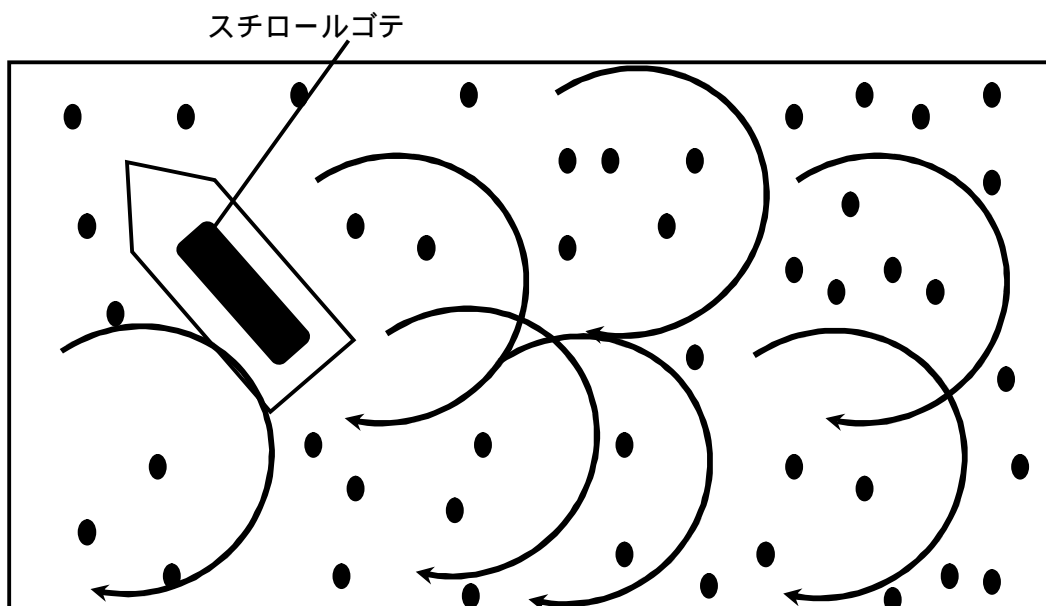


図 - 2

- ・仕上げゴテを円状にランダムに動かし、平滑になるよう押さえてください。

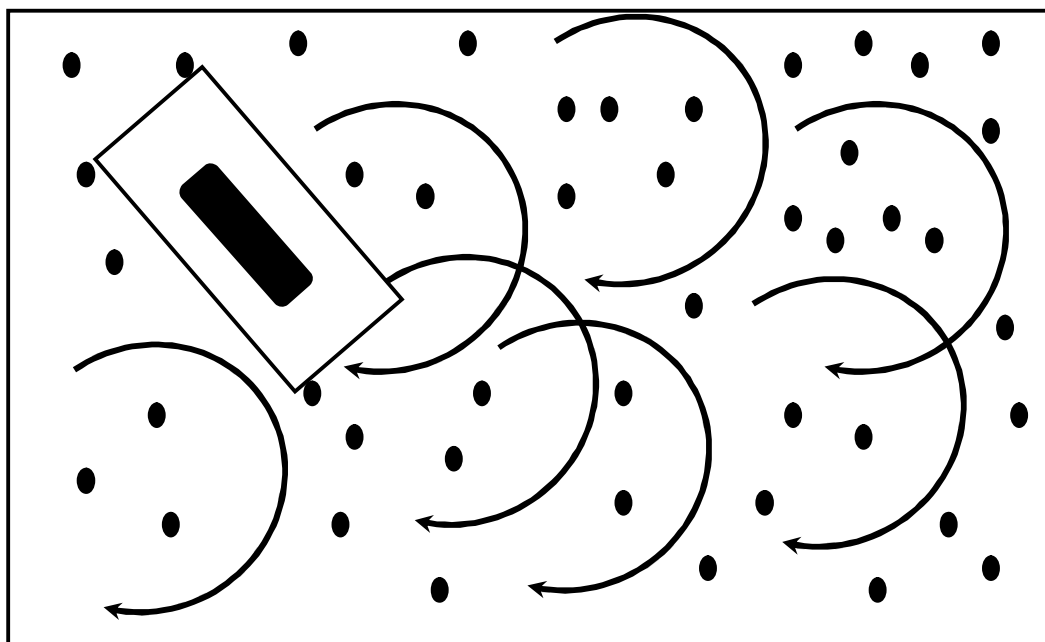


図 - 3

#### < 施工の注意事項 >

- ・ コテはステンレス製のものを使用し、施工してください。  
鉄製の金ゴテを使用した場合、鉄錆の転写、削れた鉄粉の転写で塗膜が変色して見える(グレー色)恐れがあります。
- ・ 塗膜が薄く下地の不陸を拾いやすい仕上げのため、下地が平滑であることを確認してから施工して下さい。(特にモルタル下地や、ボードの継目では下地に不陸が出やすいため、下地を平滑に処理した後、施工して下さい。)
- ・ 仕上げゴテは常にきれいに保ち、塗材が付着した場合はウエス等で拭き取ってください。  
(仕上げゴテが汚れているとフラットに押さえられません。)
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。

- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

完全にコテムラなくフラットに仕上げることはできません。

以 上